

定住自立圏

# 中心市宣言書



平成21年12月16日

伊 勢 崎 市

## 定住自立圏中心市宣言

平成17年1月1日、伊勢崎市と、玉村町を除く佐波地域の赤堀町、東村、境町の1市2町1村が新設合併し、新しい伊勢崎市が誕生しました。そして、平成19年4月1日には人口要件が20万人以上の特例市に移行しました。

この間、わが国では本格的な人口減少社会が到来しており、現在人口が増加傾向にある伊勢崎市でも、近い将来には人口減少が始まるものと予想されることから、今後の少子・高齢化、人口減少の進行に向けた対応は喫緊の課題となっています。

こうした状況を背景として、人口の流出を食い止め、また首都圏から伊勢崎市への人の流れを創出するためには、地域完結型の都市機能・生活機能を備え、市民が安心して暮らせる持続可能な地域社会をつくらなければなりません。

旧伊勢崎市には、中核的な医療機関、大学、高等学校、交通機関、商業施設など、都市機能において既に一定の集積があり、更に、都市基盤の整備や交通網の整備等により市民の生活拠点となる機能の充実も図られています。また、旧赤堀町、旧東村、旧境町地域においては、旧伊勢崎市への通勤、通学が一定割合以上となるなど、旧伊勢崎市を中心とした地域構造を有しており、旧伊勢崎市が現在の全市圏域において、経済、社会、文化など住民の日常生活圏における中心的な役割を担っているといえます。

こうした観点において、今後の本市のまちづくりを考えたとき、中心市街地の整備、賑わいの確保など、圏域全体の住民の生活を受け止める高次な都市機能を充実させていくべき旧伊勢崎市地域と、生活機能を優先して整備し充実を図ることにより持続的な地域活性化を進めるべき、旧赤堀町、旧東村、旧境町地域とに圏域を区分したうえで、暮らしに必要な諸機能を「集約とネットワーク」により圏域全体で確保し、圏域のどこでも誰でもが、安心して「定住」できる環境を整備するとともに、「自立」するための経済基盤を培い、圏域全体としての魅力を高めていくことが求められています。

このような状況を踏まえ、玉村町を含めた伊勢崎佐波定住自立圏の構築も視野に入れながら、ここに、合併前の旧伊勢崎市を中心地域とした定住自立圏の構築を掲げ、市民の暮らしを支え、都市の魅力を向上させるとともに、圏域全体の一体性の向上及び均衡ある発展を目指すことを内外に向けて宣言します。

平成21年12月16日

伊勢崎市長

五十嵐清隆

## 定住自立圏形成の背景と取り組み

中心地域となる旧伊勢崎市を都市機能集積地域、周辺地域を生活機能の優先整備地域とし、暮らしに必要な諸機能を「集約とネットワーク」により圏域全体で確保し、圏域のどこでも安心して「定住」できる環境を整備するとともに、「自立」するための経済基盤を培い、圏域全体としての魅力を高める考え方により展開しようとする取り組みは、以下のとおりである。

### 1. 旧伊勢崎市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、大規模商業・娯楽施設その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は概ね以下のとおりである。

#### ① 公共施設、公共機関

分野	都市機能	施設名等
行政	国	伊勢崎税務署、前橋労働基準監督署伊勢崎分庁舎、前橋地方法務局伊勢崎支局、伊勢崎区検察庁、伊勢崎簡易裁判所、関東農政局群馬統計情報事務所伊勢崎出張所、国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所八斗島出張所、伊勢崎公共職業安定所
	県	伊勢崎保健福祉事務所、伊勢崎行政県税事務所、伊勢崎土木事務所、伊勢崎地区農業指導センター、県立身体障害者リハビリテーションセンター、群馬県総合教育センター、伊勢崎警察署
	市	伊勢崎市役所本庁舎
公共交通	高速道路	北関東自動車道(伊勢崎IC、波志江SIC、波志江PA)
	鉄道路線	JR両毛線(伊勢崎駅)、東武伊勢崎線(伊勢崎駅、新伊勢崎駅)
	高速バス	成田空港行、羽田空港行、京都経由大阪OCAT行、奈良経由大阪OCAT行、仙台駅東口行(※伊勢崎まちかどステーション広瀬経由)新宿駅新南口行(※伊勢崎西部公園発)
	路線バス	堀口経由本庄駅北口行、前橋駅経由前橋公園行、玉村行、スマーク伊勢崎行、東京福祉大学経由本庄駅行(※伊勢崎駅発)、ベイシアモール伊勢崎から前橋駅経由前橋公園行
	コミュニティバス	無料市内巡回バス「あおぞら」(10路線のうち9路線のバスが旧伊勢崎市を走行し、伊勢崎市民病院を経由)
教育・研究	大学	東京福祉大学、東京福祉短期大学、上武大学伊勢崎キャンパス
	専修・各種学校	伊勢崎美容専門学校、伊勢崎敬愛看護学院
	高等学校	県立伊勢崎工業高校、県立伊勢崎高等学校、県立伊勢崎興陽高等学校、県立伊勢崎商業高等学校、県立伊勢崎清明高等学校、市立伊勢崎高等学校
	中高一貫校	市立四ツ葉学園中等教育学校
	特別支援学校	県立赤城養護学校伊勢崎分校、市立伊勢崎養護学校
情報・文化 スポーツ	放送局	いせさきFM
	文化ホール	伊勢崎市文化会館、伊勢崎市民プラザ

分野	都市機能	施設名等
情報・文化 スポーツ	シネマコンプレックス	ムービックス伊勢崎
	図書館	伊勢崎市図書館、市民プラザ図書室
	スポーツ施設	伊勢崎市民体育館、伊勢崎市陸上競技場、伊勢崎市庭球場、伊勢崎市野球場、伊勢崎市第二体育館、伊勢崎市民プール、伊勢崎市弓道場、伊勢崎市ソフトボール場、伊勢崎市民プラザ体育館、伊勢崎市補助競技場、伊勢崎市相撲場、緋の郷スポーツ交流館、スポーツ広場、羽黒グラウンド
病院	がん診療医連携拠点病院	伊勢崎市民病院
	休日夜間急患センター	伊勢崎佐波医師会病院
	二次救急医療体制	伊勢崎佐波医師会病院、伊勢崎市民病院、石井病院、美原記念病院、伊勢崎福島病院
	小児二次救急医療	伊勢崎市民病院、伊勢崎佐波医師会病院
	災害拠点病院	伊勢崎市民病院(DMAT)、伊勢崎佐波医師会病院
	地域医療支援病院	伊勢崎佐波医師会病院

② 商業施設

(単位: m<sup>2</sup>、台)

	業種	所在地	店舗面積	開店時期	駐車台数
1	総合スーパー	連取町	7,001	S56	-
2	衣服	除ヶ町	1,215	S56	-
3	総合スーパー	中央町	11,131	H1	-
4	ドラッグストア	日乃出町	2,690	H5	150
5	百貨店	宮子町	7,562	H6	475
6	靴・履物	宮子町	2,600	H6	-
7	自動車関係	連取町	1,100	H6	-
8	総合スーパー	連取町	11,802	H7	1,296
9	総合スーパー	堀口町	1,919	H7	135
10	家具	連取町	3,310	H8	107
11	食品スーパー	宮子町	1,455	H8	135
12	百貨店	宮子町	12,851	H9	885
13	百貨店	宮子町	1,230	H9	-
14	百貨店	宮子町	2,445	H9	-
15	電気製品	宮子町	2,775	H9	80
16	百貨店	宮子町	13,942	H9	973
17	衣服	連取町	2,050	H10	-
18	自動車関係	宮子町	1,900	H10	-
19	電気製品	宮子町	3,789	H12	-
20	食品スーパー	南千木町	5,887	H12	466
21	玩具	連取町	2,341	H13	201
22	電気製品	葦塚町	3,461	H13	193
23	総合スーパー	平和町	3,515	H15	283
24	食品スーパー	安堀町	1,973	H15	139
25	食品スーパー	美茂呂町	2,589	H15	224
26	百貨店	上泉町	2,000	H15	190
27	衣服	安堀町	2,303	H16	109
28	百貨店	安堀町	1,374	H16	64
29	衣服	安堀町	2,231	H16	136

	業種	所在地	店舗面積	開店時期	駐車台数
30	百貨店	菫塚町	3,130	H16	184
31	書籍	連取町	2,811	H16	201
32	電気製品	菫塚町	1,962	H17	127
33	書籍	南千木町	1,200	H17	82
34	食品スーパー	茂呂町二丁目	2,370	H17	159
35	総合スーパー	寿町	4,656	H18	291
36	家具	連取町	5,292	H18	152
37	ホームセンター	宮子町	15,181	H19	1,260
38	靴・履物	安堀町	1,071	H19	65
39	衣服	安堀町	1,137	H19	51
40	スポーツ用品	宮子町	3,357	H20	159
41	食品スーパー	連取町	2,078	H20	165

※平成21年4月現在

## 2. 周辺地域の住民の都市機能利用状況

次表のとおり、周辺地域の住民も旧伊勢崎市に集積された都市機能を活用しているなど、旧伊勢崎市の都市機能は周辺地域にも及んでおり、旧伊勢崎市がこの地域の住民生活等において中心的な役割を担っている。

中核病院等の地区別患者数

### ① 伊勢崎市民病院地区別患者数 (外来患者・入院患者)

(単位:人、%)

	外来患者数	割合	入院患者数	割合	合計	
旧伊勢崎市	105,698	54.1%	8,997	51.8%	114,695	54.0%
旧赤堀町	9,159	4.7%	761	4.4%	9,920	4.7%
旧東村	10,291	5.3%	921	5.3%	11,212	5.3%
旧境町	15,674	8.0%	1,382	8.0%	17,056	8.0%
玉村町	11,749	6.0%	1,151	6.6%	12,900	6.1%
その他群馬県内	24,727	12.7%	2,327	13.4%	27,054	12.7%
県外	17,909	9.2%	1,828	10.5%	19,737	9.3%
計	195,207	100.0%	17,367	100.0%	212,574	100.0%

※平成16年度

### ② 伊勢崎佐波医師会病院地区別患者数 (外来患者・入院患者)

(単位:人、%)

	外来患者数	割合	入院患者数	割合	合計	
旧伊勢崎市	45,773	53.0%	2,244	53.3%	48,017	53.0%
旧赤堀町	3,558	4%	223	5%	3,781	4.2%
旧東村	8,178	9.5%	377	8.9%	8,555	9.4%
旧境町	11,681	13.5%	447	10.6%	12,128	13.4%
玉村町	4,316	5.0%	273	6.5%	4,589	5.1%
その他群馬県内	11,164	12.9%	507	12.0%	11,671	12.9%
県外	1,661	1.9%	143	3.4%	1,804	2.0%
計	86,331	100.0%	4,214	100.0%	90,545	100.0%

※平成16年度

### 3. 伊勢崎市の通勤通学割合

#### ① 伊勢崎市内の通勤・通学者数の状況

周辺地域から都市機能集積地域である旧伊勢崎市への通勤通学者数を、常住する通勤通学者数で除して得た数値（以下、「通勤通学割合」という。）は次表のとおりであり、旧伊勢崎市はこの地域における住民生活等において中心的な役割を担っている。

（単位：人）

	人 口	常住の通勤通学者数	旧伊勢崎市	通勤通学者割合
			への通勤通学者数	
旧伊勢崎市	125,751	71,468	46,214	64.7%
旧赤堀町	16,961	11,481	1,246	10.9%
旧東村	20,656	9,698	1,734	17.9%
旧境町	31,025	14,147	2,364	16.7%

※平成12年国勢調査

#### ② 伊勢崎市外からの通勤通学者の状況

近隣市町からの伊勢崎市に対する通勤通学割合は次表のとおりで、通勤通学割合の高い玉村町等との定住自立圏の形成について今後研究する。

（単位：人）

	人 口	常住の通勤通学者数	伊勢崎市	通勤通学者割合
			への通勤通学者数	
玉村町	38,168	21,662	3,039	14.0%
旧前橋市	318,584	174,946	8,862	5.1%
旧高崎市	245,100	131,267	1,752	1.3%
桐生市	128,037	69,728	3,629	5.2%
太田市	213,299	118,242	5,946	5.0%
旧笠懸町	27,740	15,866	1,415	8.9%

※平成17年国勢調査

### 4. 展開しようとする取り組み

圏域全体の暮らしに必要な都市機能を中心地域へ集約的に整備し、生活機能を確保する相互の連携・協力により、圏域全体を活性化させ、自然と調和した快適なまちづくりを実現するために展開しようとする取り組みは、以下のとおりである。

#### 生活機能の強化

##### a 医療

- ・伊勢崎市民病院を核とした二次救急医療体制や輪番制病院の強化
- ・地域医療連携の推進

##### b 教育

- ・大学等高等教育機関等との連携
- ・中等教育学校の充実

##### c 土地利用

- ・優良農地の確保、自然環境や生活環境に配慮した計画的な土地利用

##### d 産業振興

- ・地域ブランドの推進
- ・企業進出による圏域内での雇用増加

e 防災

- ・消防や防災体制の充実

f その他

- ・その他圏域の生活機能の強化に関する事。

結びつきやネットワークの強化

a 公共交通

- ・生活公共交通の強化

b 道路等の交通インフラの整備

- ・圏域内外を結ぶ基幹道路及び生活道路の整備、鉄道連続立体交差の整備

c 圏域内の生産者・消費者等の連携による地産地消

- ・地産地消の拡大に向けた圏域内での取り組み推進、圏域内外での地場製品のPRを実施

d 圏域内外の住民との交流・移住促進

- ・自治体ホームページや広報紙、FM放送等の活用による圏域内外への情報発信と情報共有

e その他

- ・この他結びつきやネットワークの強化に関する事。

圏域マネジメント能力の強化

a 地域づくりに資する人材の育成

- ・まちづくり組織のリーダー養成支援

b 圏域内外の職員等の交流

- ・職員等の交流促進による連携強化と職員等の能力向上

c その他

- ・この他圏域マネジメント能力の強化に関する事。